



令和7年度 さいたま市立土呂中学校 学校だより

見沼のほとり

第 10 号
令和8年2月2日

学校教育目標 主体的に生きる人間の育成 《意欲・健康・豊かな心》

学校行事と進路への挑戦を見つめて

校 長 金子 慎一郎

2月に入り、今年度もいよいよ締めくくりの時期となりました。本校でも、各学年がそれぞれの成長につながる大切な行事や取り組みに向かっています。行事は単なる「イベント」ではなく、仲間と関わる中でしか得られない学びがあり、自分自身を見つめ直す機会でもあります。



3年生はいよいよ公立高校入試に向けた最後の追い込みの時期を迎えています。これまで積み重ねてきた努力は、きっと皆さんの背中をしっかり押してくれます。緊張する気持ちや不安を感じるのは、真剣に向き合ってきた証です。仲間と励まし合いながら、一步ずつ確実に前へ進んでいってほしいと思います。最後の最後まで、自分を信じて挑戦してください。

2年生は、館岩方面でのスキー宿泊学習が控えています。自然の中での体験活動は、日常の学校生活では味わえない学びにあふれています。初めて経験することに不安を感じる人もいるかもしれませんが、挑戦し、一歩前に踏み出すことで得られる自信は、これからの学校生活と進路選択に必ずつながっていきます。仲間とともに力を合わせ、心身ともに大きく成長してくれることを期待しています。



1年生は、浅草方面への校外学習に取り組みます。日本の文化や歴史に触れ、見て、聞いて、体験することで、教科書の学びがより深まる機会となるでしょう。仲間と行動する中で、ルールを守り、助け合いながら学ぶことは、中学校生活の基礎を形づくる大切な力です。次の学年に向けて、良いステップとなることを願っています。

学年は違っても、「新しいことに挑戦する」「仲間と共に成長する」という共通点は変わりません。行事や受験に向けて頑張る姿は、学校全体に温かいエネルギーを生み出しています。

2月・3月は今年度のまとめの時期、そして新しい年度のスタートに向けて、それぞれの目標に向かって努力する時期でもあります。3学期は0学期とも言われていますので、それぞれの目標に向かって取り組めることを心から応援しています。

さて、話は変わりますが、令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が届き、調査結果を考察させていただきました。注目した点で、本校の生徒は「読書が好きですか」の項目において、当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した生徒の割合が72.6%で全国平均の61.6%を11ポイントも上回っている点です。調査では、読書が好きな生徒ほど各教科の正解率が高い傾向にあるとされ、今回の調査結果にも納得できるものがありました。しかし、全国的に読書の代わりにスマホの利用時間が多くなり、その割合が減少傾向にあるそうです。ご家庭でもスマホの代わりに読書を勧めるなど、日ごろの生活習慣の中に取り入れていただけますと幸いです。

